



# 2018年度 報告

～子どもの貧困の世代間連鎖を防ぐ  
金融リテラシーの必要性～

## はじめに

東京スター銀行では・・・

# 貧困問題 × 金融リテラシー に取り組んでいます

「子どもの貧困」に関しては、低学歴、孤独、不健康など様々な複合的な不利を抱え、大人になっても貧困から抜け出せない「貧困の世代間連鎖」が特に問題となっています。

当行では、様々なNPOや施設の方とお話をする中で

**「金融リテラシー」が連鎖を防ぐ重要な糸口になると仮説を立てました。**

貧困下にある家庭では親の金銭感覚の乱れ・知識の欠如が子どもにも影響しており、子どもの将来をおびやかすことが危ぶまれていたからです。同様に児童養護施設等の子どもも、将来の家計管理や将来設計が難しいことも分かってきました。

### NPOの声

周囲の影響や教育機会が不足しているために、子どもたちも金銭感覚が身につかず、トラブルが起こりやすい。

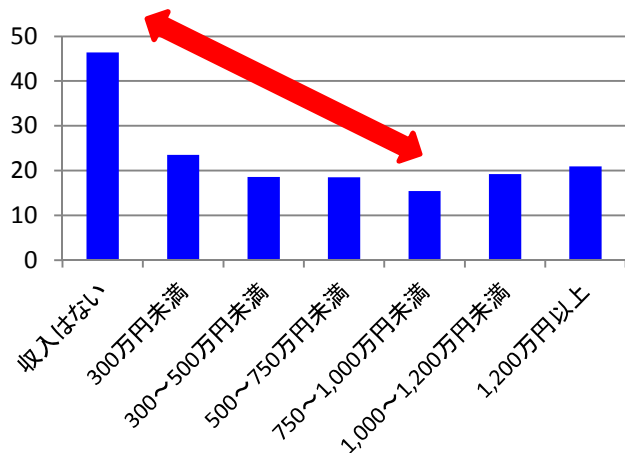
### 私たちの目的

子どもたちが将来、自律的な「収支管理・ライフプランの立案・職業選択」をでき、自信と希望を持って、職業生活・家庭生活を送ることができる社会を目指します。

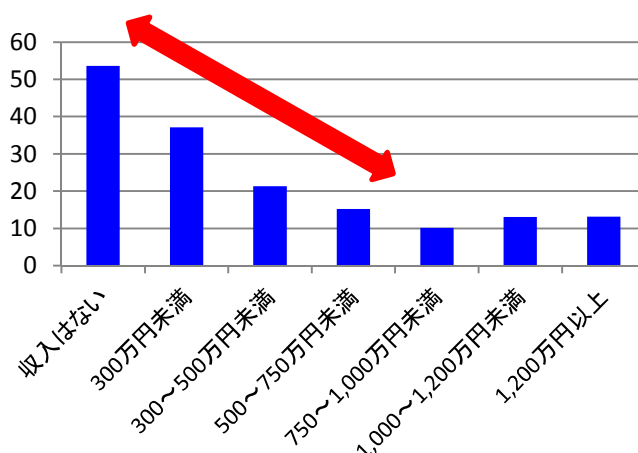
# 貧困と、金融リテラシー

低年収世帯ほど金銭管理意識が低いことが分かる調査があります。

家計運営の評価について、「意識したことがない」と答えた割合



「現在生活設計を立てていないし、今後も立てるつもりはない」と答えた割合



家計の金融行動に関する世論調査 (2016 金融広報中央委員会)

貧困家庭や施設等の子どもたちの、「金融リテラシー」の欠如が、貧困脱出のハードルを高めています。

## 子ども時代

無計画に使う親の金銭感覚の乱れ

親子で買い物に行く、お小遣いを使った指導など、日常での機会の不足

将来の展望や職業について見聞きする機会の欠如

進学費用や奨学金の情報や指導が不足し、子どもが選択肢を持たない

## 自立後

職業をあまり知らず、目先の条件で就職を決めてしまい、すぐにやめてしまう

奨学金や支度金を使い切るなど収支管理ができずに、生活が立ちいかなくなる

詐欺、ギャンブル、借金などトラブルに巻き込まれやすい

収入に合わない価格の家賃など固定費を決めてしまい、後で困る

# どのような学びが必要か？

金融リテラシーマップ※にもとづく学びのポイントを参考に、施設やNPOからの声をもとに小・中・高生向けに以下まとめています。

※金融経済教育研究会報告書（2013年 金融庁公表）が示した「最低限身に付けるべき金融リテラシー」を年齢層別に具体的に記したものの。

## 1

### お金の仕組み、お金の基本

- ① **お金は限りある大切なもの**
  - ✓ お金は色々なものと交換できる
  - ✓ 生きていくためにお金が必要
- ② **お金は貯めることができる**
  - ✓ コツコツ貯めると、将来大きなお金になる
- ③ **お金の秘密**
  - ✓ 昔のお金、偽造防止、銀行の仕事、お金の工場、お金の役割

## 2

### 自分の価値観を知る

- ① **自分の価値観（大切にしていること）を知ろう**
  - ✓ 何に価値をおくかによって、お金の使い道、稼ぎ方が変わってくる
  - ✓ 自分の大切にしたいものは？
  - ✓ 自分の大切にしたいくないものは？（＝お金や時間、労力を使いたくないもの）
- ② **自分の価値観を実現できる未来を描こう**
  - ✓ 価値観によって、いろんな生き方・暮らし方がある
  - ✓ 具体的に描くことで、価値観を大切にしたい未来に進むことができる

## 3

### お金の危険、トラブル

- ① **お金の危険はいっぱい（どんなトラブルがあるかを知る）**
  - ✓ お金の貸し借り、おごる・おごられる、詐欺にひっかかる、借金、交通事故・ケガ、ニートになる、仕事をやめるなど
  - ✓ すぐに判断はせず、大きなものごとを決めるときは相談する
  - ✓ よく起こる事例を把握しておく：児童養護施設出身者で自立時にもらえる支度金の数十万円を一度に使ってしまうなど
- ② **見えないお金の気を付ける**
  - ✓ クレジットカード、リボ払い、ケータイの課金、ネットショッピングでお金を使いすぎる
- ③ **ルールを破ったり、悪いことをすると、あとでお金のトラブルになる**
  - ✓ 迷惑をかけるだけでなく、自分も仕事につけなくなったり、罰金を払ったりする
  - ✓ 自転車事故、万引き、いじめ、ドラッグなどの犯罪、いたずらや悪口をSNSでアップするなど
- ④ **困ったことは大人に相談する**
  - ✓ 困っていることを隠しておく、あとでもっと大変なことになる
  - ✓ ブラックバイトや詐欺に巻き込まれるなど、危険な時は逃げることも大切
  - ✓ 身近な大人に相談できないときは、相談機関に相談できる

# どのような学びが必要か？

## 4

### 上手にお金を使う・貯める

#### ① お金を上手に使おう

- ✓ 考えなしにお金を使うと、後で大変になるよ！
- ✓ Need（絶対必要なもの）と、Want（できればほしいもの）を分けて考えよう
- ✓ 情報収集してから買い物しよう。ケータイのプランや、家を決めるときなど、後で大きなお金の違いになる

#### ② 生きていくためにどれくらいお金がかかる？

- ✓ 今、自分が生活するのにかかっているお金は？（食費、ティッシュ、洋服など）
- ✓ 一人暮らしするのに、生活費はいくらぐらい？ お金を遊びや趣味に使ってしまって、生活費を払えなくなった事例もあるよ
- ✓ 将来、生きていくために、どれくらいお金がかかる？

#### ③ 進学のお金について

- ✓ 進学にかかるお金はどれくらい？ 計画を立てよう！
- ✓ 奨学金の種類・方法、学校の種類（費用の違い）
- ✓ その他の方法（夜間学校、新聞奨学生など）

#### ④ 未来のために、お金を貯めよう

- ✓ 毎月貯金をするくせをつけよう
- ✓ コツコツ貯めると大きいお金になる、大きい金額のものが手に入る
- ✓ いざというときに困らない（けが・病気、大きな支出、老後など）
- ✓ 収入があったらまず貯金する「先取り貯金」に挑戦！どこに貯金するかも決めておこう
- ✓ 貯金金額の決め方：目標〇円 ÷ 期間（年） ÷ 期間（月） = 毎月の貯金額

※子ども向けには「貯蓄」ではなく、分かりやすい「貯金」と記載しています

## 5

### 働く・お金を稼ぐ

#### ① 大人になって、「働く」とお金をもらえ

- ✓ 社会の役に立ったり、人に喜んでもらえると、お金をもらえる
- ✓ 仕事は、「楽しい」「大変」のどちらもあるけど、今から準備すれば、楽しく働ける（勉強、お手伝い、自分について考える、仕事について調べる）

#### ② 様々な仕事について知って、自分の夢・希望の仕事について考えよう

- ✓ たくさんの職業があるので、知らない職業について色々調べてみよう
- ✓ 希望の職業について、収入、必要な資格・スキル・努力などを確認する

#### ③ 職業を選ぶ視点を身に付けよう

- ✓ 主な3つの視点：①収入、②なりやすさ・難しさ、③やりがい
- ✓ その他のさまざまな視点から、自分の大切にしているポイントを知っておこう
- ✓ 最初は良くても後で大変になりうる「職業のリスク」を知って選ぼう（非正規雇用、人気商売、体力が必要な仕事、悪徳商法、性産業）
- ✓ ニート、フリーターについて知ろう

# 東京スター銀行の「お金のスタートレーニング」

貧困解決を目的として、体系的に、かつ楽しく、お金のスキルを高める講座を実施しています。

## 2018年度の実績

- 目的** 「子どもの貧困」の連鎖の解決に向けた、金融リテラシーの展開
- 目標** 子どもたちが将来、自律的な「収支管理・ライフプランの立案・職業選択」をでき、自信と希望を持って、職業生活・家庭生活を送ることができる社会を目指します
- 対象団体** 子ども支援を行っているNPO、施設など
- 実施内容** 小学生向け・中高生向けの2種類の講座
- 実施回数** 23回
- 実施人数** 315名の小中高生・養育者（過去累計約600名）

※上記の他、地域貢献として、小学校や東京スター銀行の支店でも実施しております

## 子ども、支援関係者からの声

### 小学生

お金ってこんな大事だったんだ

### 中学生

お金の使い方がよく分かった。これから少しずつ貯めていきたい

### 保護者

昨年受講してから子どもが小遣い帳が続いています

### 小学生

お金のじょうずなつかい方やお金の大切さがしれたので、うれしかったです

### 中学生

一人暮らしはムリだと思っていたけど出来そうだ

### 施設職員

くり返し施設でとりくむ必要を感じました

# 東京スター銀行の「お金のスタートレーニング」

## 2018年度の実績

### ■全国銀行協会主催「金融経済教育に関する研修会」（2019年3月1日）にて、発表しました。

全国銀行協会が、会員銀行における金融経済教育の取り組みを一層促進することを主な目的として開催した会員銀行向け研修において、「貧困」と「金融教育」をつなげた当行の取り組みを、取り上げていただきました。

- ◆講演テーマ：子どもの貧困解決に向けた金融教育の事例
- ◆参加者：銀行29社／37名



### ■全国銀行協会発行の「全銀協SDGsレポート」に掲載されました。

上記同様、当行事例について全銀協SDGsレポートに掲載いただきました。

※全国銀行協会の取り組みに関するサイトはこちら

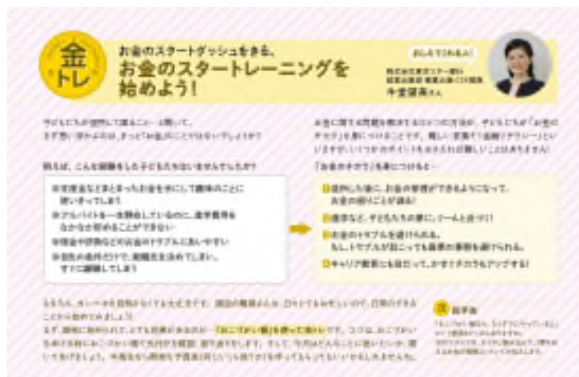
<https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/contribution/sdgs/>

### ■社会的養護に関する雑誌「wacca」に、金銭管理について掲載されました。

一般社団法人自助自立支援機構（コンパスナビ）が発行する、社会的養護に関する雑誌「wacca」に、児童養護施設等の職員や子どもに役立ててほしい金銭管理に関するコラムを掲載いただきました。

※「wacca」に関するサイトはこちら

<http://compass-navi.or.jp/release/61.html>



# 実施団体さまのインタビュー

## 一般社団法人 青少年自助自立支援センターさま



社会的養護下から巣立つ若者の自立支援をしています。就労支援、住まい支援、自動車運転免許取得支援を行っています。

**金トレ実施内容**：埼玉県の児童養護施設の中高生を対象として実施

### － 応募のきっかけは？

児童養護施設への色々なプログラムを検討している中、退所時に支度金があってもあつという間に使い切ってしまう話や、施設やユース（施設出身者の若者ボランティア）の様子からお金の課題を感じ、金銭管理の講座を実施してくれる団体を探していた。東京スター銀行の公募を知った際には、専門家である銀行が施設等を対象に実施する金融教育はまさにイメージにぴったりだと思った。

### － 実施してみた感想は？

金銭管理だけでなく、お金に関連する全体像、また、なぜ大切なのかの部分教えてもらえるのがいい。手伝いにくるユースたちにも金融教育の話聞いてもらえるのが、生活の役に立つだろう。それまでの人とのつながりややってきたこと全てがつながった2018年になって、とても喜んでいる。

### － 今後への展望

自立援助ホームや施設職員向けにも行いたいと考えている。また、施設だけでなく、里親家庭の出身でも独立後に奨学金を使ってしまうという話も聞く。児童養護施設の中で、里親担当を集めて教育することは有効できっと喜ばれる。私たちは埼玉の活動がメインだが、一都六県にも目を向けていきたい。

## NPO法人 Kids doorさま



貧困などの困難な環境にある子どもたちも、公平なチャンスを得られるよう、学習支援などの支援を行っています。

**金トレ実施内容**：学習支援教室での中学生1-2年生を対象として実施

### － 応募のきっかけは？

中学生は、生活圏が広がりスマホを持ち始め、いろんな情報を得たり、つながりを持つにもかかわらず、まだ危険や世間を知らない。友だち同士の貸し借りなどトラブルもおこりがち。また、高校生になったらアルバイトを始めたり、「お金がないから公立高校に行きなさい」と親に言われ始めるなど、具体的にお金のことを考えなくてはならない。中学生であれば、そのような現実的な話も分かる年齢で、この時期にぜひ教えてかった。

### － 実施してみた感想は？

職業・キャリアを、将来の生活設計・金銭管理と結びつけたパートがとても良い。子ども達は、ロールモデルがおらず、職業のイメージも持ちづらい。一般的な「夢や目標」を考える前向きすぎるキャリア教育よりも、現実的で地に足のついたキャリア教育が、かえて子どもたちのやる気を引き出している。

### － 今後への展望

今後も毎年、金融教育をやってきたい。中学1、2年生が学習会にいるが、中2から入ってくる子もいるし、中1で既受講した子もいるが、忘れてしまう内容もあると思うので2回同じ講座を受けてもいい。今年から学習教室が1つ増えるので、全6教室でやっていきたい。



# ＜児童養護施設向け＞ 金融教育リテラシーUP チェックリスト

**チェック!**

施設での「お金に関するしつけ」として出来ることを、  
チェックリストにしました。日常での指導において、お役立てください。

|               |   |
|---------------|---|
| おこづかいによる指導    | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ おこづかい帳をつけることを、施設でのルールとしている</li> <li>□ おこづかい帳をつけ、職員がチェックや指導をしている</li> <li>□ おこづかいの使い方について、計画や振り返りをする時間・ルールを設けている</li> </ul>   |
| 児童の貯蓄行動について指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 児童自身で貯蓄することを、施設のルールとしている</li> <li>□ 児童の貯蓄目標金額を設定して、指導している</li> <li>□ 児童に貯蓄の方法について指導している（先取り貯金や、貯金箱を使うことなど）</li> </ul>  |
| 日常での指導        | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 児童が、おこづかい以外にも日用品購入などのお金に関する経験ができるように、機会を設けている</li> <li>□ スマホを使う児童に対して、ルールなどを決めている（課金や使用時間の制限など）</li> <li>□ お金の貸し借りをしない、などお金に関するルールを決めている</li> </ul>  |
| 進学費用について指導    | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 児童全員に対して、利用できる奨学金などの情報が行きわたるようにしている</li> <li>□ 進学希望者に対して、一人ずつ進学費用に必要な費用を計算し、貯蓄計画を立てている</li> </ul>  |
| 自立に向けて        | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 陥りやすいお金のトラブルや、解決方法などについて、児童に伝えている</li> <li>□ 退所前に、一人暮らしなどでの収支について、指導をしている（収支計画を立てるなど）</li> <li>□ 退所時に、貯蓄・支度金・寄付金などを渡す際に、計画的に使うよう指導している</li> <li>□ 児童が、幅広い選択肢から自分に合う道を考えられるように、指導したり、機会を設けている（キャリア教育、キャリア相談など）</li> </ul> |